



学 校 教 育 目 標 (Group mission)
一人一人のよさ・可能性を最大限に伸ばし、健やかで主体的に学び続ける児童生徒が育つ学校

目 指 す 学 校 像 (Vision of the school)
札幌養護学校グループ(札幌養護学校、共栄分校、白桜高等学園)は、障がいのある子どもたちの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う特別支援学校を目指します。 多くの教職員、多様な専門職、PTA、地域など、子どもたちの教育に携わるものとして連携し、お互いに理解、尊重、協働し、専門性をもって子どもたちの学びを高め、子どもたちが心身ともに育つ学校づくりを進めます。

目指す児童生徒像 (Ideal Students)
1 健康で丈夫な体を持つ児童・生徒 【丈夫で健康な体】 2 自分の良さや持ち味を生かす児童・生徒 【表現する力】 3 自分の方法で表現し伝える児童・生徒 【表現する力】 4 優しい心を持ち、仲間とともに活動する児童・生徒【優しく豊かな心】 5 自分で考え選択する児童・生徒 【主体的に学ぶ力】 6 生活に生きて働く知識や知恵を持つ児童・生徒 【生活基本的な力】 7 決まりやルールを守って活動する児童・生徒 【生活基本的な力】 8 自ら取り組み最後までやり抜く児童・生徒 【主体的に学ぶ力】
【札養 5 つの力】 ☐ 丈夫で健康な体→1 ☐ 優しく豊かな心→4 ☐ 表現する力→2・3 ☐ 主体的に学ぶ力→5・8
【育成すべき資質・能力 3 つの観点から(主に)】 ☐ 知識及び技能→1・6・7 ☐ 思考力、判断力、表現力等→2・3・5・8 ☐ 学びに向かう力、人間力等→4

目指す教職員像(Ideal image of teachers and staff)
1 児童・生徒一人一人の人権や良さ、可能性を認め、深い教育的愛情と高い指導責任意識を持つ教職員 【優しく豊かな心】 2 明るく健康で、礼儀やマナーを重んずる教職員 【生活基本的な力】 3 特別支援教育に関する高い専門性をもち、根拠のある指導を行う教職員 【主体的に学ぶ力】 4 自己の良さや持ち味を発揮し、向上心と改善意欲をもって実践と研修に取り組み続ける教職員 【表現する力】 5 保護者や地域の声に耳を傾け、誠実に向き合い、連携・協働して児童・生徒を育てる教職員 【優しく豊かな心】 6 学校経営参画意識とチームワーク意識をもち、協力・協調・協和する教職員 【優しく豊かな心】【主体的に学ぶ力】
【G 札養 Quality】 ☐ 専門力→3 ☐ 創造力→4 ☐ 協調力→6 ☐ 対応力→5 ☐ 人間力→1・2
【育成すべき資質・能力 3 つの観点から(主に)】 ☐ 知識及び技能→2・(3) ☐ 思考力、判断力、表現力等→3・4・6 ☐ 学びに向かう力、人間力等→1・5・6



学 校 未 来 像 (Group vision)
学校・家庭・地域の共育による児童・生徒の確かな学びと社会参加・自立を支える学校になる

3 つの重点

学校・保護者・地域の協力・連携(Collaboration)	学びの見直し(教育課程)、再整理(Rebuild)	社会貢献・社会参加(Contribution)
☐ 学校教育・家庭教育・社会(地域)教育それぞれの役割による協力・連携 ☐ 地域の資源を活用した教育活動の充実 コラボレーション教育活動の推進	☐ 多様なグループ編成、指導編成の検討 ☐ 学部の繋がりと社会を見据えた教育内容の再整理 ☐ 体験・経験を通した5つの感覚で感じる授業、わかる授業【子どもを主語にした事業実践】	☐ 児童生徒が褒められる(認められる)、役に立つ、必要とされる授業内容と社会(地域)との繋がりを ☐ 社会の一員としての社会貢献、社会参加へ

教育の基本方針
1 児童生徒一人一人の卒業後の生活を見据え、「生きる力」(「生活する力」と「活動する(働く)力」)を育成する。 2 児童生徒の人権尊重を基盤として、よさを伸ばし可能性を最大限に引き出す教育を創造し、実践する。 3 児童生徒一人一人の障がいの状態や特性及び発達段階や生活年齢を考慮し指導内容や方法及び学習評価の充実を図る。 4 自立と社会参加に向けた系統的な教育活動を推進するため、個別の教支援計画及び個別の指導計画の利活用を図る。 5 児童生徒が興味関心と見通しをもって取り組み、思考を深めながら主体的な活動選択や意思表示を促す体験的な学習活動を充実する。 6 基本的な生活習慣や日常生活に必要な基本動作を身に付け、健康で安全に活動するための体力や運動能力を育む指導を充実する。 7 個に応じた指導を実現するためのツールとしてICTを活用するとともに、教材・教具や治具の工夫を図る。 8 地域の学校との交流及び共同学習、及び地域町内会や事業所等と連携した活動など、人間的触れあいや体験的な活動を充実する。 9 訪問教育を受ける児童生徒の実態や保護者等のニーズを適切に把握し、訪問教育におけるカリキュラムマネジメントの充実を図る。 10 キャリア発達支援の観点から、学年や学部間の接続を考慮し、卒業後の生活を見据えた系統的な進路指導を推進する。

経営の基本方針
1 学校・保護者・地域が連携・協働して共に児童生徒を育て、学校を創るという共育、共創の観点を重視した学校経営を推進する。 2 教職員が互いの人権や考えを尊重し、安心して発言したり意見を述べ合ったりできる、心理的安全性の高い学校づくりを目指す。 3 校内における迅速な情報伝達と情報共有に努め、組織の活性化と意思統一及び教育活動の円滑化を図る。 4 教職員の専門性(授業力・生徒指導力・評価力・ICT活用力等)を高めるとともに、互いを磨き合う研修を推進する。 5 地域の学校や関係機関等に対して、相談支援、情報提供、研修協力を行い、地域の特別支援教育センター的機能を発揮する。 6 教育活動や児童生徒の様子を積極的に発信し、本校教育に対する保護者、地域住民、関係機関等の理解を深め、信頼される学校づくりに努める。 7 学校予算の戦略的、計画的な執行と適正な管理を行うとともに、学校施設・設備等の適切な維持管理と補修に取り組む。 8 学校を取り巻く状況の変化や発生する諸問題に対し、柔軟かつ迅速に修正改善する機動的な学校経営を推進する。 9 業務の協働と効率化に努め、教職員が心身ともに健康で教壇に立ち、生き生きと児童生徒と向き合い、質の高い教育が実践できる条件整備を推進する。 10 学校運営協議会や学校評価の充実を図り、学校経営上の成果と課題を明確にし、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。

研究	札幌養護学校テーマ	札幌養護学校白桜高等学園 テーマ	札幌養護学校共栄分校テーマ
	☐ 「学びの連続性」と「育成を目指す資質能力」を意識した教育課程と授業の改善 ～確かな学びを育むために～	☐ 自立と社会参加に向けた学びのために 教育課程の整理・改善	☐ 日常的な情報共有を活かした児童生徒一人一人の学校生活と教育の充実 ～PATH の手法を取り入れた、多彩な視点からの情報共有に基づいた協働と教育の充実を目指して～